

「待ち望む未来」
(イザヤ書11章1節～10節)

牧師：原 雅幸

序) 私が本当に欲しいものは？

- ・あったらいいと思うものはいくらかもあるが、本当に求めるべきものは何か。それを求めているだろうか。

本) イザヤの描く未来：神の国の5つのイメージ

① 切り倒された切り株から出る「若枝」(1節)



- ・木(ダビデ王朝)は切り倒されても再び枝を伸ばすことができる。
- ・エッサイの根➡新しいダビデの登場(古いものの延長ではない)
- ・「若枝」のヘブル語は「ネツェル」→訛るとナザレになる。

② 聖霊が宿るランプスタンド(七枝の燭台：メノラー)(2節)



- ・聖霊(主の霊)が7つのことばで描かれ、「若枝」に宿る。
- ・「知恵と悟り(分別)」…状況判断と選択。「思慮と力(勇氣)」…人を生かす力「主を恐れる、知識(主を知り、畏れる)」…神との正しい関係を保ち、神を体験する。

③ 理想的な王(3節～5節)

- ・古代の王の仕事は「さばき」である。「悪しき者(単数=悪)を殺す=断つ」ために「ことばの力(改心させる説得力)」をもっている。
- ・「腰の帯、胴の帯」は下半身を覆う要。これが緩むと裸の恥をさらす。

④ 聖なる平和の山(6節～9節)

- ・今の状況ではとても共存できないものが平和のうちに暮らすビジョン
- ・すべての存在が互いに害を与えない関係に変えられる。

⑤ 旗(10節)

- ・山の上に立つ木(第1～4のイメージの統合)が旗として、全世界の人々の集まるべきところとして示される。



結) この未来はどのようにして実現するのか。

- ・5つのイメージを貫くキーワード「主を恐れ、主を知る」
- ・3節「主を恐れることを喜びとし」=「主を恐れることが匂い立つ」→主を恐れることが身に着いている。正義と真実(=誠実)の実が実っているから香る。この香りが平和をもたらし、人々を惹きつける。ひとりひとは滴でも、これが集まると大海になる。
- ・第1のイメージはクリスマスから始まり、十字架と復活で成就している。
- ・今日「若枝」として行動することを求められているのは、教会である。

名前()

◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① あなたにとって、一番すごいと思うものはなんでしょう。

- () 切り倒されても、復活して実を結ぶ木
- () 聖霊が火のように宿るランプスタンド
- () ことばの力で悪を断つ失敗しない王さま
- () ライオンと子羊がいっしょに暮らす山
- () 世界中の人が集まってくる旗



◆お話を聞いた後で、考えましょう。

* あなたの家庭や学校に、理想的なリーダーはいますか。あなた自身はどうですか。

～教会クイズ(教理問答)～

みんなで一週間
考えてみよう!

Q029 「三日目に死者の中から復活し」とは、どういうことですか。

A029 イエス様が復活され、に勝利されたということです。

それによって私たちも新しいに生きるのです。

□ヒント□ マルコ 16:1-8、ルカ 24:1-12、ヨハネ 11:25、ローマ 6:3-11、8:11、一コリント 15:12-22

Q030 「天に上り」とは、どういうことですか。

A030 イエス様はをもって天に上られたということです。

それはわたしたちが、イエスさまと

にいるためです。

□ヒント□ マルコ 16:19-20、ルカ 24:50-53、ヨハネ 14:2-3、14:16-19、使徒 1:6-11、エペソ 4:8-10